

読売新聞 きょう（6月11日）のイチ押し

1面など 小惑星リュウグウの試料に水 はやぶさ2が採取

日本の探査機「はやぶさ2」が小惑星リュウグウから持ち帰った砂や石の試料には大量の水が含まれ、46億年前に太陽系が形成されてから間もない頃の状態を保っていると、北海道大などが発表しました。

- ★ 試料に含まれる水の量は全体の重さの計7%でした。試料は太陽系誕生から500万年後に作られたとみられ、この頃から既に液体の水が存在していた可能性があります。
- ★ 今回の発見は地球の海の起源や、初期の太陽系の様子を知る手がかりになりそうです。地球の形成過程でリュウグウのような小惑星などの隕石から大量の水がもたらされ、海が誕生したという仮説もあります。
- ★ リュウグウの試料からは23種類のアミノ酸も確認されています。試料の分析には世界中の研究者が取り組んでおり、今後も様々な研究成果が期待できそうです。

社会面 給与以外も多額未払い 和歌山南陵高校

教職員が給与の未払いなどを理由に授業のストライキに踏み切った私立和歌山南陵高校では、給与以外にも多額の未払いや支払い遅れが起きています。11日でストから1か月となりますが、混乱は収まっていません。

- ★ 修学旅行の行き先を海外から県内に変更したことで生じた費用の差額を生徒側に返還していなかったり、敷地内の学生寮の給食を提供する会社への支払いがたびたび遅れたりしているようです。
- ★ 生徒は定員の半分以下しか在籍しておらず、運営する学校法人は経営難により第三者に事業を引き継ぐ方針ですが、難航しています。

他紙と比べて

今月22日公示、7月10日投開票となる見通しの参院選は、どのような論点で争われるのでしょうか。1面のインタビュー連載「視点参院選2022」（計6回予定）で各界の識者に聞きます。初回は、国際政治や米中関係が専門の佐橋亮・東京大学東洋文化研究所准教授に、ロシアのウクライナ侵攻によって冷戦後最大の岐路に立つ国際社会で日本の外交はどうあるべきかを語ってもらいました。